

# 中富記念くすり博物館だより

2026年4月号 No.349

## イベント情報

5月24日まで フォトコンテスト2026春

薬木薬草園または博物館敷地内(屋外)で植物を撮影して応募しよう！作品はプロカメラマンが審査を行い入賞者には賞品を進呈します。

5月17日 国際博物館の日の記念イベント  
国際博物館の日は18日ですが休館日の為、17日に下記イベントを行います。

①学芸員による展示ガイド  
～アルバン・アトキン薬局の中に入店してみよう～  
今回は特別に普段入ることができない、《アルバン・アトキン薬局》の中に入ることができます！

②薬草クエスト  
薬木薬草園で簡単なクイズを出題！  
正解した方には景品をプレゼント♪



5月30日 駅員おすすめの JR九州 ウォーキング

JR鳥栖駅スタートの鳥栖市内をまわるウォーキングです。当館はウォーキングマップ提示で入館料割引!!

5月31日 デコパージュ  
6月7.13.14日 レトロかわいい 巾着を作ろう!



布に薄い紙を糊で貼りつけるフランスの「デコパージュ」というハンドメイド技法を用い、昭和レトロな薬袋柄の巾着を作ります。

## 薬草美術館 絵画の中の植物をご紹介します

15世紀の画家、ヒエロニムス・ボスの代表作《快樂の園》は、三連祭壇画として描かれた作品で、左翼に「楽園」、中央に「快樂の園」、右翼に「地獄」の場面が配置されています。中央は人間の欲望や罪、快樂をテーマとし無数の裸体の男女が空想上の動物、植物などと自由奔放に戯れています。その中で巨大なイチゴに群がり、背負い、抱きかかえる人々の姿があります。甘くて美味しいイチゴ。けれどもその甘さは一瞬のことで、長くは続きません。イチゴは人間を怠惰に向かわせる「墮落のシンボル」とされ、作品内では目先の甘い欲望に食らいつく人間の性(さが)をあぶり出しています。やがて人々は右のパネルに描かれた「地獄」に落ちてゆくのです……。イチゴを口にした後残る「酸っぱさ」は、不摂生な暮らしに警笛を鳴らすボスからの戒めなのかもしれません。



ヒエロニムス・ボス《快樂の園》  
プラド美術館(スペイン) 1500-1510年

祝 3月28日をもちまして 開館31周年を迎えました!!

フォトコンテスト2025秋 受賞作品決定!

栄えあるグランプリには YKB・Pさんの作品が選ばれました。水滴の瑞々しさがとても伝わる作品です。おめでとうございます♪ 他の作品はHPにて公開しています。



ミュージアムショップ メタモンカップ (税込: 2,200円)

ポケモンで大人気のキャラクター「メタモン」! 「メタモンカップ」はごはんやプリン、ゼリーのなどの食べ物や雪や砂を「メタモン」にすることができます。型抜きしやすく洗いやすい素材で、電子レンジでの加熱や冷凍庫で凍らせることも可能。パッケージを使えばカップを逆さに固定できます。色は透明、不透明タイプの2種類。デザイナーの森井さんは、立体造形でポケモンカードゲームのイラスト制作にも参加したことがあるそうです。メタモンがわざで他のポケモンに「へんしん」するように、色々なものをメタモン型にへんしんさせませんか?



イベント詳細はこちら↓



公式HP Instagram facebook LINE@